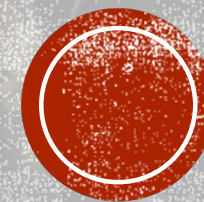


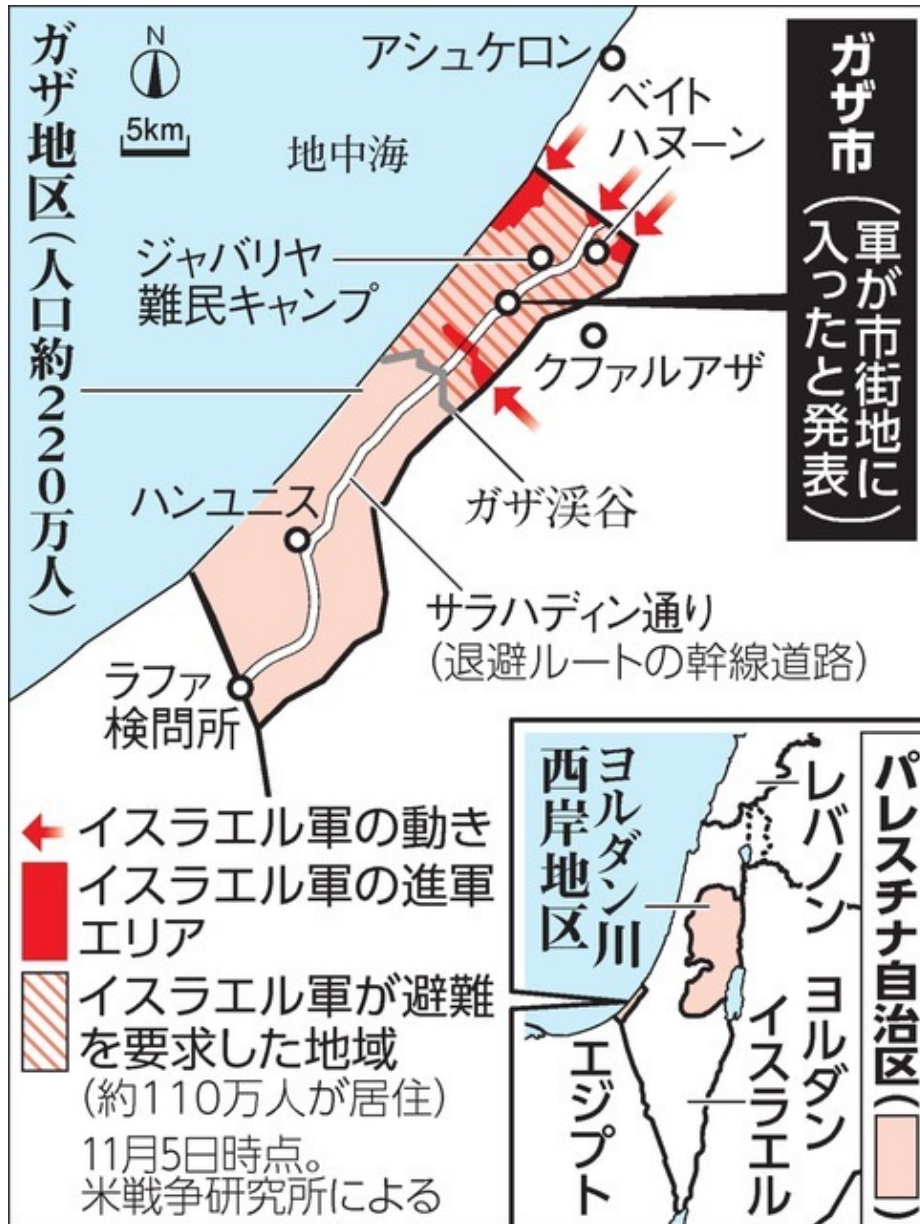


JFIR国際問題シリーズ・セミナー「欧州は今：重層的多極化する欧州とアジア」
第2回「激動のウクライナ・パレスチナ情勢をどうみるか」
2023年11月9日

パレスチナの視点から

溝渕 正季（広島大学）





2023年11月8日付『朝日新聞』より



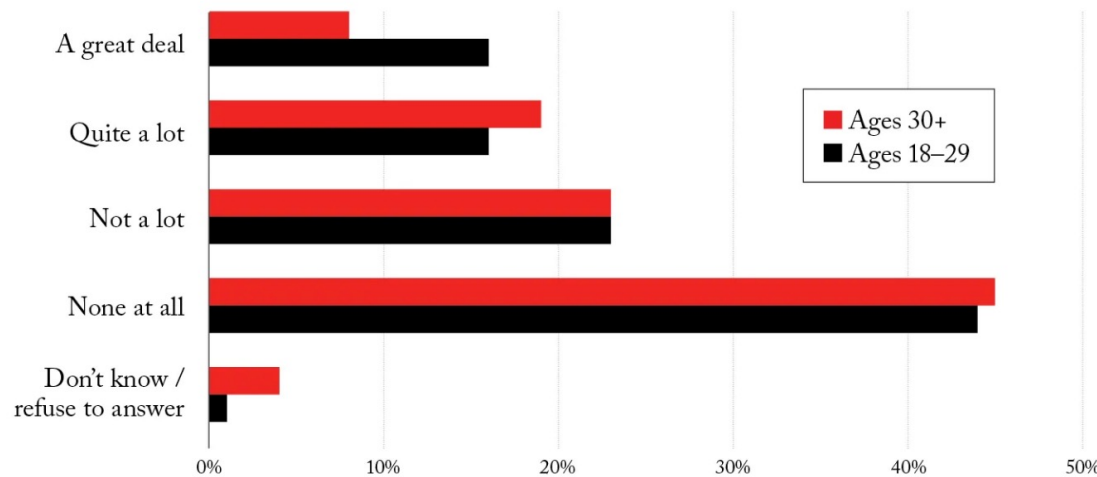
ハマースとは何者か？

- ムスリム同胞団パレスチナ支部を母体として、第1次インティファダを契機に1987年12月に誕生。
- ①政党、②社会福祉団体、③対イスラエル武装闘争組織（カッサム部隊）という3つの顔を持つ。
- 2006年1月のパレスチナ自治政府選挙にて勝利するも、国際社会からの反発を受ける。その後、2007年6月にはガザの実効支配を固める（その一方、西岸はファタハが支配）。
- イスラエルとの「長期停戦」（2017年～は二国家解決）は可能との立場。イスラエルとの「暗黙の共生関係」。
- イランの支援を受けるも、シリア内戦においては反体制派側に立って参戦。2017年以降は関係改善を進め、2022年に復縁。



LITTLE TRUST IN HAMAS

How much trust do you have in the Hamas-led government?



Source: Arab Barometer Wave VIII, Gaza (2023).

アラブ・バロメーターは、ガザの住民がハマスの統治にどれほど信頼しているかを調査した。調査結果によると、ガザの住民の約45%はハマスの統治に「全く信頼しない」と答えた。これは、2023年25日の調査結果である。

- ハマスの統治には多くのガザ住民が不満を募らせている。
 - ガザの貧困率は2011年の39%から2021年には59%に上昇。また、生活必需品が不足する原因を外部からの制裁だと考えるガザ住民は16%に過ぎない。
 - ガザ住民の73%がイスラエル・パレスチナ紛争の平和的解決を支持。
 - ガザでのイスラエルによる弾圧は、一般のガザ住民の間でハマスへの支持と同情の増加につながる。
- 「一発逆転」を狙った可能性も？



ハマース側の狙いと目的

- 近年の暴力行為と入植地拡大への不満や反発
 - 「2023年10月7日」という節目のタイミングと象徴的意味
 - 「アブラハム合意」以降のイスラエルと周辺アラブ諸国の間での国交正常化（＝占領地の現状固定化）の動きへの牽制（なお、かかる国交正常化を好ましいと考えるガザ住民は10%程度）
 - イスラエル国内の混乱
-
- 戦術レベルでの成功と戦略レベルでの混乱？
 - 果たして「価値」や「理念」を置き去りにした「秩序」（「非リベラルな覇権秩序」）に耐久性はあるのか？

